

留学だより No.1



Adelante morning(afternoon)! フィリピンのセブシティーに留学中の16期の栗本です。

第一回は、フィリピンでのカルチャーショック集とフィリピン感のある写真たちをお届けしようと思います。

カルチャーショック

その1 キリスト教が生活に根付いている

フィリピンは人口の90%がキリスト教です。日曜日には教会に行き、学校では一日6~10回くらいお祈りをし、家の中や各教室、ジープニー(東南アジアのとても開放的なバス)の中に「サントニーニョ」というイエスキリストが幼かったころの人形が置いてあります。キリスト教関連の記念日には学校で2時間ほどの式が行われたり、街中でフィエスタがあったりします。キリスト教の授業もあります。

【写真】左から、日曜に行く教会、教会のキャンドル、キリスト教の授業の宿題で自分のorigin,history,destinyとイエスキリストへの手紙を書く。



その2 ご近所の風景

少しフィリピンの方々に失礼なことをいうのですが、最初にホームステイ先に案内されたとき、ここはスラムなんじゃないかと思って焦りました。自分の家はコンクリの新築できれいなのですが、周りの家はすべて錆びてぼろぼろのトタン屋根。壊れかけている家もあ

れば窓がない家もあるし、道は細くてゴミも多いです。人間一人がやっと通れるくらいの道を、犬とすれ違いながら通ります。日本で衛生講座を受けたとき、「狂犬病は怖いから、野良犬からは3メートル以上距離を取るように」と言われましたが、実際には不可能です。家出した瞬間に犬にかこまれます。でも、今はホストファミリー宅の周りが大好きです。周りはみんな知り合いで、ほとんどが親戚。通学路も反対の道にも声をかけてくれる人がたくさんいます。夜は大人も子供も赤ちゃんも近所のバレーボールコートに集結して20ペソ(60円)を賭けて試合します。小さい子たちが「こんにちは」って言ってきてくれてかわいいです。毎日、親戚やファミリーの友達がかわるがわるやってきます。こんなにあたたかいコミュニティーがあるなら、道が細くてちょっと汚くても問題ないなと思っています。

【写真】左から、私とホストシスターといとこ、近所のバレーボールコート



その3 言語がみんなバラバラ

フィリピンには、170種類の言語が存在します。私の地域では、ビサヤ語が使われています。授業では英語とビサヤ語とタガログ語を使います。スペイン領だった時代が長かった背景から、スペイン語もたまに耳にします。ちなみにショッピングモールに行くと日本語も聞こえてきます。私が、「これってビサヤ語で何っていうの?」と簡単な文章を聞くと、みんな違う答えを返してきます。ホストブラザーがいうには、とても複雑な言語だからみんなの訳がバラバラらしいです。しかし、ほとんどの人が英語を喋れるので、英語が理解できれば言葉で困ることは少ないです。同じ留学エージェントのAFSで、フィリピンのイロイロに留学している友達は、熱が出たときにヒロゲイノン語しか話せないおばあちゃんに看病されて大変だったとっていました。英語が伝わるかどうかは、地域と世代にもよります。

その4 授業時間が長すぎる

1日の授業は80分5コマで、合計6時間40分です。小石川は45分7コマなので、5時間15分です。つまり、フィリピンの方が1時間25分も一日の授業時間が長いのです。授業が全部終わるとくたくたになります。タガログ語メインの授業が2コマ続く日は結構つらいです。どの先生も普通に時間をオーバーするので、3、4、5限の間の休み時間がないです。こんなに長いので、授業中にお菓子やパンを食べてもOKです。

その5 お風呂が恋しい



フィリピンのお風呂は、トイレの横に置いているバケツに水ためて頭からかぶるだけです。その水が汚なくてかぶる勇気がないので、私は水をためる用のシャワーから直で浴びています。お湯は出ないし、バスタブないし、脱衣所ないし、窓閉めても外からの隙間風と虫が入ってくるので、日本のお風呂がどれだけ優秀なのかを日々感じております。南の島フィリピンといえど、水シャワーは寒いです！！！！

フィリピンに行くまでの飛行機の中でテルマエ・ロマエを観ていたので、フィリピンの人たちにも日本の銭湯とか温泉を知ってもらって、感動してもらって、フィリピンにお風呂ができるといいなと思っております。

フィリピンを感じるピクチャーたち

写真の上に説明を書いています。

セブシティーの夜景と、AFSでフィリピンに留学している仲間たち



フィリピンファストフードのジョリビー、バナナピナイパイ、
BUKO(coconut)、TAHO(豆腐黒蜜タピオカジュース)



フィリピンは3食米で、ファーストフード店でもハンバーガーではなく米が出てきます。

バナナピナイパイは油で揚げたバナナです。これめっちゃおいしい

Taho は、家の前とか学校の前におじさんがタンク担いで売りに来ます。これもおいしい。

最後に

ここまで読んでくれてありがとうございます。

フィリピンに来てから約一か月、店員さんの言葉が全く聞き取れなかったり、高熱を出したりと、慣れない環境に苦戦しながらも、文化の違いを楽しんで生活しています。今の一番の悩みは、フィリピンに来てから一度も体調がいいと思っただけがないことです。私のスマホの検索履歴は、「フィリピン 頭痛」「フィリピン 熱」「フィリピン 病気」「下痢 赤い」「フィリピン 採血 安全」とかで埋まっています。ネットの日本人のフィリピン生活ブログとかを読んでいると、体調不良の記事がたくさん見つかるのでそれ読んで頑張っています。イベントごととはとても楽しいです。フィリピン人は、パーティーにたくさんのお金をかけている感じがします。誕生日とかフィリピンのお祭りとかはとても派手で、人がいっぱいいて、おいしい料理をたくさん食べます。誕生日会に必ず来るプリクラ機スタジオ版みたいなのが来るのが好きです。

生活に慣れることに精一杯だったけれど、これからはちょっとずついろんなことに挑戦していきたいです！